

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

泰阜村

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	令和 2 年度景観整備事業
事業費 736,000 円 (うち支援金: 580,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

泰阜村内の村道は森林に隣接しているが、森林所有者の高齢化、不在村化により森林整備が遅れている。一方で、住民生活を始め、人工林の整備もこれらの道路を利用して行われる。

このため、道路に隣接した整備の遅れている森林に対し、景観の確保、凍結防止、視界の確保、獣害防除の観点から森林整備を実施する必要がある。

(2) 本事業の目的

村内生活道路沿線の景観整備、凍結防止、視界の確保、獣害防除の緩衝帯整備を目的とし、被圧木等の劣勢木伐採、下層草木の全刈、伐採木整理を実施する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

村道 4 号線 (打沢田本線) 沿線の森林 3 箇所

(2) 対象者

道路沿いの荒廃森林

(3) 実施方法

村道及び県道沿いの民有林の雑草木について、劣勢木伐採、下層全刈、伐採木整理を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

5～7 箇所/年 × 5 年間 = 約 30 箇所

② 令和 2 年度実績

1 区間 3 箇所



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

下記の点について効果が見られた、又は期待される。

- ・見通しのよい森林形成
- ・獣害防除のための緩衝帯の形成
- ・支障木伐採による景観の改善
- ・通行者の安全確保
- ・観光客の増加

地元住民による道路愛護活動への積極的な参加

(2) 継続性

施業後の事業箇所の森林整備の継続については、森林所有者及び該当地区の住民による維持管理が確約できた箇所から優先的に事業実施するため、事業効果の継続性が見込める。

(3) 普及性

支障木の伐採による目に見える効果として、生活道まで日光が当たるようになる、視界が開けて見通しが良くなることなどが挙げられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

道路周辺森林の景観が整備され、見通しもよくなり交通上の安全も確保された。道路へ日光が当たるようになり、凍結被害の防止も期待できる。

(2) 課題

依然として村内道路周辺の多くの森林が整備されておらず、景観や視界への支障となっている。そのため、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

年5箇所程度事業を行うことを目標としているが、今年度は事業量等の問題から3箇所にとどまった。

来年度以降は事業箇所の増加を目指していく。また、法面の保護及び景観に配慮しながら、事業効果の高い森林を選定し、優先的に行っていく。

- 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)